

シリーズ

# 「私の木語り」

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。

## 「地域材でDIY」



地域材で作った物置の前で (筆者のDIY)  
合同会社ラーチアンドパイン 代表 木平 英一

### ■自己紹介

三十代は名古屋の大学で森林研究。四十代は地元にてUターンして民間企業で薪販売事業に従事。五十代になり独立し、昨年小さな会社を立ち上げる。十年ごとにやることは変わっていますが、森に関わる仕事で一貫しています。

### ■活動内容

薪の仕事をしていた時です。太い立派なアカマツの丸太が薪材です。もったいないし、薪にするのも大変だし、なんとかならんかな。どうして木材として使えないのかと素材に疑問に思っていました。



地域のアカマツでDIYした大型ウッドデッキ

独立してから、地域の素材生産者、製材所さんと打合せして、ツーバイフォーの規格で二〇〇本ほど製材し、自分でウッドデッキを作りました。人工乾燥なので、丸太からウッドデッキが完成するまで四十日ほどです。なんだ、やろうと思えばできるんだ。地域の木材がなぜ流通しないのか？その答えは単純明快。使う仕組みが無い、消費者がいいるからなんです。



木や森は、木材生産だけでなく地域の安全、景観など多くの役割を担っています。森を適正に利用

### ■今後の展望(メッセージ)



地域の有賀製材所さんをお借りして 地域木材の販売会

そこで、地域材を地域の人がDIYで使う仕組みを作ろうと活動を開始。地域材を販売するイベントを定期的に開催しています。知名度も無く、誰も来てくれないかと思いきや、イベントは盛況。地域の木材を使いたいというニーズは確実にあると感じています。



金井山素材さん 木と森が好き

し、保全するのは難しい課題ですが、顔の見える小さな循環だと安心です。地域で森に関わる人は、森が好きで森を大事にしている人ばかりだからです。一次産業は、地産地消がまず基本。地域材でDIYを当たり前にし、木材の地産地消を当たり前にしていきたいと思えます。

### ○連絡先

合同会社 ラーチアンドパイン  
〒三九六〇〇三三  
長野県伊那市山寺二三五二一  
TEL〇八〇八四九三二一三五七  
地域材でDIY Facebook  
グループページ  
是非ご参加ください。  
<https://www.facebook.com/groups/539792124068328>

